PC98-**NX**シリーズ **Mate** 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型 (Windows Meインストールモデル)

(Windows 98インストールモデル)

はじめに

お読みください

NEC

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。 梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。

なお本書に記載のイラストや画面はモデルにより多少異なります。また、実際の画 面とは多少異なることがあります。

場作の泣わ	1	添付品の確認
「未TFUJ流イし		不足しているものや、破損しているものがないかを最初に確認します。
	2	設置場所の決定13
		設置する場所を決めます。
	3	添付品の接続
		使い始めるのに必要な機器を接続します。本体の型を見て、本書の各型のページ をご覧ください。接続する前には必ず添付の『安全にお使いいただくために』を お読みください。
		省スペース型の場合15
		デスクトップ型の場合
		ミニタワー型の場合 34
	4	Windowsのセットアップ43
		はじめて電源を入れるときには、Windowsをセットアップします。
	5	お客様登録 50
		の合称の豆球でしより。
	6	マニュアルの使用方法 51
		添付されているマニュアルの使い方について説明しています。
	7	使用する環境の設定と上手な使い方
		使用する環境や運用、管理する上で便利な機能を設定します。



型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレク ション型番と呼びます)またはフリーセレクション型番(フレーム型番 とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型 番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、 必ず控えておくようにしてください。



フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなく した場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。



左が、スマートセレクション型番ょ右が、フリーセレクション型番」のス テッカーです。

スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、P.6 「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。 スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、P.10「添付品を 確認する」へ進んでください。

● スマートセレクション型番を次の枠に控える





の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

\checkmark	型番	クロック周波数
	10	1.0 GHz
	66	667 MHz
	80	800EB MHz
	86	866 MHz

CPUの種類を表しています。

\checkmark	型番	CPU の種類
	Н	インテル [®] Celeron™ プロセッサ
	Т	Pentium [®] III プロセッサ

本体の型を表しています。

\checkmark	型番	本体の型
	C、L または Z	省スペース型
	М	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

\checkmark	型番	ディスプレイの種類
	5	DV15A3
	9	FE90
	D	DV17D2
	E	F18S1W
	G F15S32	
	N	F15R42W
	R	F15T42
	Y	F14T52
	Z	なし

選択アプリケーションのあるなし、または種類を表しています。

✓	型番	選択アプリケーションの種類
	5 または T	なし
	6 または D	Office 2000 Personal
	7 または Y	Office 2000 Professional
	8 または U	ー太郎 10・花子10パック & 1-2-3 2000

FDDまたはSDDおよび、CD-ROMまたはCD-R/RWのあるなし、 キーボードの種類を表しています。

~	型番	FDD または SDD	CD-ROM または CD-R/RW	キーボードの種類
	1	FDD	CD-R/RW	テンキー付き PS/2 小型キーボード
	2	SDD	CD-R/RW	テンキー付き PS/2 小型キーボード
	3	なし	なし	テンキー付き PS/2 小型キーボード
	4	なし	なし	PS/2 109 キーボード
	5	なし	なし	USB 小型キーボード
	6	FDD	CD-R/RW	PS/2 109 キーボード
	7	FDD	CD-R/RW	USB小型キーボード
	8	FDD	CD-R/RW	USB98 配列キーボード
	9	なし	なし	USB98 配列キーボード
	В	FDD	CD-R/RW	USB109 キーボード
	D	SDD	CD-R/RW	USB109 キーボード
	E	SDD	CD-R/RW	USB 小型キーボード
	F	SDD	CD-R/RW	PS/2 109 キーボード
	G	SDD	CD-R/RW	USB98 配列キーボード
	Н	FDD	CD-ROM	USB 小型キーボード
	L	SDD	CD-ROM	USB 109 キーボード
	М	FDD	CD-ROM	USB 109 キーボード
	S	SDD	CD-ROM	USB98 配列キーボード
	Т	FDD	CD-ROM	PS/2 109 キーボード
	U	SDD	CD-ROM	PS/2 109 キーボード
	V	FDD	CD-ROM	USB98 配列キーボード
	W	SDD	CD-ROM	USB 小型キーボード
	Х	FDD	CD-ROM	テンキー付き PS/2 小型キーボード
	Y	SDD	CD-ROM	テンキー付き PS/2 小型キーボード
	Z	なし	なし	USB109 キーボード

メモリの容量、ネットワークボードの種類、エネルギースターの対応または未対応を表しています。

\checkmark	型番	メモリ容量	ネットワークボードの種類	エネルギースター
	3	102MP	LAN ボード	
	4	192IVID	FAX モデムボード	土分広
	5	510MD	LAN ボード	ላየ
	6	DIVID	FAX モデムボード	
	В	64MB		
	D	128MB		未対応
	E	256MB		
	G	64MB	LAN ボード	
	Н	128MB		쳐応
	J	256MB		40468
	М	512MB		
	N	64MB		
	R	128MB		対応
	S	256MB		
	U	64MB	FAX モデムボード	半分内
	W	128MB		ማለርላጥ
	Х	512MB		対応
	Y	256MB		未対応

ハードディスクドライブの容量を表しています。

\checkmark	型番	ハードディスクドライブ容量
	F	20GB
	G	30GB
	J	60GB

上記の ~ のすべての組合わせが実現できているわけではありません。

次にP.10「添付品を確認する」に進んでください。

5

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、 P.10「添付品を確認する」へ進んでください。

● フレーム型番を次のチェック表にチェックする

XXX-XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	- / 피프
XXXX PC-MAXXXXX	ノレーム型畬
X01 XX.X.XXXXXX IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	
XOX XX.X.XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
XXX XX.X.XXXXXX	
XXX XX.XX.XXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
XXX XX-X XXXXXX	

PC-MA 277

の意味は次の通りです。

CPUのクロック周波数を表しています。

\checkmark	型番	クロック周波数
	10	1.0 GHz
	66	667 MHz
	80	800EB MHz
	86	866 MHz

CPUの種類を表しています。

\checkmark	型番	CPU の種類
	Н	インテル [®] Celeron™ プロセッサ
	Т	Pentium [®] III プロセッサ

本体の型を表しています。

\checkmark	型番	本体の型
	C、L または Z	省スペース型
	М	ミニタワー型
	S	デスクトップ型

インストールOSの種類を表しています。

\checkmark	型番	インストールOSの種類	
	5	Windows Me	
	Т	Windows 98	

2 コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

XXX-XXXXX XXX XXX XXX	
XXXXX PC-MAXXXXXX	
	コンフィグオプション型番
2007 20-3-2000000 WWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWW	

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番のうち、 ~ はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています(選 択必須COP)。 ~ は選択したモデルやオプションによってステッ カーに記載されます(選択必須COPおよび任意選択COP)。また、ス テッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。 COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

PC-M-KB 3はキーボードの種類を表しています。(選択必須 COP)

\checkmark	型番	キーボードの種類	
	10S	テンキー付PS/2小型キーボード	
	98U	USB 98 配列キーボード	
	PS2	PS/2 109 キーボード	
	SMU	USB 小型キーボード	
	USB	USB 109 キーボード	

PC-M-1H 4は内蔵3.5インチベイに搭載されるハードディ スクドライブ(プライマリマスタ)の容量を表しています。(選択必 須COP)

\checkmark	型番	ハードディスクドライブ容量	
	020	20GB	
	030	30GB	
	060	60GB	

PC-M-ME 4はメモリの種類と容量を表しています。(選択必 須COP)

\checkmark	型番	メモリの種類と容量	
	N06	SDRAM 64MB	
	N12	SDRAM 128MB	
	N19	SDRAM 192MB	
	N25	SDRAM 256MB	
	N51	SDRAM 512MB	
	R06	RDRAM 64MB(ECC)	
	R12	RDRAM 128MB(ECC)	
	R19	RDRAM 192MB(ECC)	
	R25	RDRAM 256MB(ECC)	
	R51	RDRAM 512MB(ECC)	

PC-M-CD は5インチベイに搭載されるファイルベイ用内 蔵機器(セカンダリマスタ)の種類を表しています。(MA66H/Zはな し、その他の機種は選択必須COP)

\checkmark	型 番 ファイルベイ用内蔵機器の種類	
	CDD2	CD-ROM
	CDR4	CD-R/RW

PC-M-FD は3.5インチベイに搭載されるファイルベイ用 内蔵機器の種類を表しています。(MA66H/Z以外の省スペース型 は選択必須COP、その他はなし)

\checkmark	型 番 ファイルベイ用内蔵機器の種類	
	FDD1	FDD
	SDD2	SDD

PC-M-NE 4はネットワークボードの種類、エネルギースター対応 または未対応を表しています。(選択必須COP)

Y	型番	ネットワークボー	ドの種類	エネルギースター
		LAN		하다
	LAE	(OFF State Alert	機能あり)	404 62
		LAN		
	LAN	(OFF State Alert	機能なし)	土分広
		LAN		~~>>>//C
	LAN	(OFF State Alert	機能あり)	
		LAN		하다
	LAK	(OFF State Alert	機能なし)	404 62
	MDE MDM	┎ <u>ू</u> ⋎ ┰<i>╤</i>╽ ╓	_ k	対応
			- F	未対応

PC-M-AC 2は筐体アクセントカラーの種類を表していま す。(省スペース型は選択必須COP、その他はなし)

\checkmark	型番	筐体アクセントカラーの種類	
	BLK	プラック	
	BLU	プルー	
	MWH	ホワイト	
	RED	レッド	

DV F

はディスプレイの種類を表していま

す。(任意選択COP)

\checkmark	型番	ディスプレイの種類
	DV15A3	DV15A3
	DV17D2	DV17D2
	F14T52	F14T52
	F15R42W	F15R42W
	F15S32	F15S32
	F15T42	F15T42
	F18S1W-M	F18S1W-M 注意
	FE90-M	FE90-M 注意

注意 ディスプレイの箱、ディスプレイの保証書、ディスプレイの銘板、 ディスプレイ添付のマニュアルにはF18S1W、FE90と書かれていま すが、F18S1WはF18S1W-Mと、FE90はFE90-Mと同じ商品です。

PC-M-AP **は選択アプリケーションの種類を表していま** す。(任意選択COP)

\checkmark	型番	選択アプリケーションの種類	
	JST2	ー太郎10・花子10パック & 1-2-3 2000	
	MSW2	Office 2000 Personal	
	MSW3	Office 2000 Professional	

PC-M-ES 1はESMPROを表しています。(任意選択COP)

\checkmark	型番	ESMPRO
	ESM	ESMPRO

PC-M-SC 2はSCSIボードを表しています。(任意選択COP)

\checkmark	型番	SCSI ボード
	UWS	Ultra SCSI インタフェースボード(Wide 対応)

PC-M-2H 4は内蔵3.5インチベイに搭載される追加ハード ディスクドライブ(プライマリスレープ)の容量を表しています。 (任意選択COP)

\checkmark	型番	追加ハードディスクドライブ容量
	020	20GB (2ndHDD)
	030	30GB (2ndHDD)
	060	60GB (2ndHDD)

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリス トを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損して いた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱や添付品収納箱には、下記の他にも注意書きの紙などが入っている 場合があります。

● 箱の中身を確認する

P.3 ①またはP.6 ①、P.7 のの型番を参照すると、よりわかりやすく なります。

保証書(本体梱包箱に貼り付けられています) 保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、 保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書 の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理 については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によっ て機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理い たします。詳しくは、保証書をご覧ください。

はじめにお読みください(このマニュアルです) 本体(ディスプレイやキーボードなど 添付品収納箱 の 周辺 機器 を含まな い Mate を指します)

キーボード マウス

- 1つにパックされています。



Microsoft® Office 2000 Personal Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook_® 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf_® Basic)

- ^{*2} Microsoft_® Office 2000 Professional Microsoft Word 2000, Microsoft Excel 2000, Microsoft Outlook® 2000, Microsoft PowerPoint® 2000, Microsoft Access 2000, Microsoft Publisher 2000, Microsoft / Shogakukan Bookshelf® Basic)
- *3 一太郎10·花子10パック/R.2(一太郎10/R.2、花子10/R.2、三四郎9/R.2、ATOK13/R.2)
- ^{*4} ESMPRO/ClientManager Ver 2.1/Ver 3.0/Ver 3.1/Ver 3.2, DeliveryManager Ver 4.0/Ver 4.1/Ver 5.0 /Ver 5.2/Ver 6.0/Ver 6.2(ライセンスFD)

② 添付品収納箱の中身を確認する

___」は、各々1つにパックされています。







 ファイルベイ用内蔵機器の種類がCD-R/RWの場合添付
 Easy CD Creator[™] 4 Standard/ Direct CD[™] 3 CD-ROM

 ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの 箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確 認する

(P.3 ● またはP.9 ● で、ディスプレイのあるなし、種類がわか ります)

④本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。

なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。 次のペ - ジの「 2 設置場所の決定」へ進んでください。



設置場所を決める





電源ケーブルの上に、ものを載せないでください。

電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてく ださい。

電源ケーブルの付け根部分を無理に曲げないでください。

<u>ケーブル類は、つまずかないように整理してください。</u>

●設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

屋内

- 温度10 ~35 湿度20%~80% (ただし結露しないこと)
- 平らで十分な強度があり、落下のおそれがない
- (机の上など)

🗙 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機(本体とキーボードなどを含んだMateを指します。)の故障や破損の原因となります。

磁気を発生するもの(扇風機、スピーカなど)や磁気を帯びているもの の近く

直射日光があたる場所

暖房機の近く

薬品や液体の近く

腐食性ガス(オゾンガスなど)が発生する場所

テレビ、ラジオ、コードレス電話、他のディスプレイなどの近く

人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い場所

本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

ディスプレイの通風孔がふさがる場所

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の 点を確認してください。

本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いを すると、故障や破損の原因となります。

本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり 壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できませ ん。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。 通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保して ください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必 要です。

本機を移動するときは……

本機に接続しているすべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を 取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面 を持ってください。また移動中に、壁などにぶつけたりすると故障や破損 の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で設置場所の決定は完了です。 次のページの「3]添付品の接続」へ進んでください。



添付品の接続

接続するときの注意

- 添付品の接続をするときは、コネクタの端子には、触れない 故障の原因となります。
- Windows Meインストールモデルに別売のディスプレイを接続する 場合は、800×600ドット以上の解像度のディスプレイを接続する Windows Meのセットアップが、800×600ドットの解像度で表示され るためです。ディスプレイがセットになったモデルであれば問題あり ません。

デスクトップ型の場合はP.27をご覧ください。 ミニタワー型の場合はP.34をご覧ください。

省スペース型の場合

スタビライザをセットする

本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタ ビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態で は、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場 合は、転倒防止のため、必ず次のようにスタビライザをスタビライザ取り 付け用ネジで取り付けて設置してください。

また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザ をセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある 方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディス プレイなどを置くことができます。

● スタビライザを2つ取り付ける場合

机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

2つのスタビライザを次のようにかみ合わせる



本体底面の突起にスタビライザを合わせて、スタビライザ取り付け 用ネジ2個を使い取り付ける

本体を横にするときは、机やテーブルなどを傷つけたりしないよう に、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。



次のように、片側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、壁など と反対側の側面のみにスタビライザを1つ取り付けることで設置する ことができます。







1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、 必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する



1つのスタビライザを、スタビライザ取り付け用ネジ2個を使い取り付ける





添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより❶または❷のどちらかで接続してください。

●USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウスのUSBコネクタをアイコンの向きをあわせてキー ボードのUSBコネクタに接続する



キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに 接続する

液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(F18S1W)がセットになった場合を例 に説明します。

液晶ディスプレイの側面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。



本体(背面)に接続する場合



ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケー ブルの抜け防止に役立ちます。

ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』PART2 周 辺機器を利用する(省スペース型)」のケーブルストッパの 取り付け/取り外し」をご覧ください。

本体(正面)に接続する場合

USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてか ら、USBコネクタに接続する USBケーブルフックを利用すると、USBコネクタの抜け防止 に役立ちます。



アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードの ケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があり ます。



②PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウス(緑),キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、盗難・抜け防止に役立ちます。 ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド 省ス ペース型、デスクトップ型、ミニタワ - 型』「PART2 周辺機器を 利用する(省スペース型)」の「ケーブルストッパの取り付け/取 り外し」をご覧ください。

2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の❶または❷のどちらかの方法で接続してください。

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあ り、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュ アルを参照しながら接続してください。

●アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する 場合

ここではディスプレイ(F18S1W)がセットになった場合を例に説 明します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のアナ ログRGBコネクタに接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液 晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)のどちらを使用しても構いません。



∂デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここではディスプレイ(F14T52)がセットになった場合を例に説明 します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のデジ タルRGBコネクタに接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを本体のデジタルRGB コネクタに確実にロックされるまで手で押し込んでください。 本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用し ても構いません。



3. リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する 必要に応じて次の接続を行ってください。 LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、①の手順で接続します。

FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブルを使い、のの手順で接続します。

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理 者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従って 接続する マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



- ・端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で 受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の 種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』「PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(合)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを本体のアイコン表示(、))に従って接続する モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

🥂 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。 本機に添付のサービスコンセント付電源ケーブルをご使用になる前に、 下記の注意事項をよく読んでから接続してください。



サービスコンセントには、ディスプレイの電源ケーブル以外は 接続しないでください。サービスコンセントで供給できる電源 の容量は3Aまでです。消費電力の大きな機器などに接続する と、火災の原因となります。

サービスコンセントにテーブルタップを接続するなどのタコ
 BAXGER
 サービスコンセントにテーブルタップを接続するなどのタコ

次のページのイラストを見て●~❸の順番に接続してください。

● アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

アイスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(F18S1W)が セットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場 合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続 してください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグをサービスコンセントに差し込む

本体の電源ケーブルを接続する

本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを壁な どのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



以上で添付品の接続は完了です。 P.43^T 4 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

省スペース型の場合はP.15をご覧ください。 ミニタワー型の場合はP.34をご覧ください。

デスクトップ型の場合

本体のゴム足がある方を下にして設置してください。 本体には、約25kgまでのディスプレイなどをのせることができます。

添付品を接続する

1. マウス、キーボードを接続する

お使いのキーボードにより、①または②のどちらかで接続してください。

●USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウスのUSBコネクタをアイコンの向きにあわせてキー ボードに接続する



キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに 接続する

液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(F18S1W)がセットになった場合を例 に説明します。

液晶ディスプレイの側面にあるUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。





②PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウス(緑),キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ接続する



2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の❶または❷のどちらかの方法で接続してください。

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあ り、接続方法が異なる場合がありますので、ディスプレイに添付のマ ニュアルを参照しながら接続してください。

●CRTディスプレイまたはアナログ液晶ディスプレイを接続する場合 ここではディスプレイ(DV17D2)がセットになった場合を例に説 明します。

本体のアナログRGBコネクタの位置は、機種によって異なります ので、機種とアナログRGBコネクタの位置をよく確認してから接 続してください。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のアナ ログRGBコネクタに接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに本体とアナログ液晶 ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)のどちらを使用しても構いません。



◎デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここではディスプレイ(F14T52)がセットになった場合を例に説明 します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のデジ タルRGBコネクタに接続する

このとき、ビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタル RGBコネクタに、確実にロックされるまで押し込んでください。

本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用し ても構いません。



 リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する 必要に応じて次の接続を行ってください。 LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、①の手順で接続します。 FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブ ルを使い、②の手順で接続します。

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理 者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従って 接続する

マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



❷モジュラーケーブルを接続する場合

- 端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で 受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の 種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』「PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(⁻ 合)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを、本体のアイコン表示(、、、)に従って接続する モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り 使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

∕��安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。 次のページのイラストを見て、●~❸の順番に接続してください。

● アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

❷ ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイ(DV17D2)がセットに なった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があり ますので、ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続して ください。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

● 本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



省スペース型の場合はP.15をご覧ください。 デスクトップ型の場合はP.27をご覧ください。

ミニタワー型の場合

横置きにして使用する方へ...

本体を横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してく ださい。また、本体の上に約25kgまでのディスプレイなどをのせること ができます。本体を横置きにして使用する場合、ファイルベイ用内蔵機器 (CD-ROMなど)を入れ替えることで、利用しやすくなります。詳しくは、 『ハードウェア拡張ガイド』PART4 周辺機器を利用する(ミニタワー 型)」ファイルベイ用内蔵機器の取り外し/取り付け」フロッピーディス ク、CD-ROMなどを使いやすくする(横置きに適した向きの変更)」をご 覧ください。

添付品を接続する

- マウス、キーボードを接続する
 お使いのキーボードにより、①または②のどちらかで接続してください。
 - ●USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウスのUSBコネクタを、アイコンの向きをあわせて キーボードのUSBコネクタに接続する



キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに 接続する

液晶ディスプレイに接続する場合

ここではディスプレイ(F18S1W)がセットになった場合を例 に説明します。

液晶ディスプレイの側面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。



本体(背面)に接続する場合



ケーブルストッパを利用すると、盗難・抜け防止に役立ちます。 ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』 「PART4 周辺機器を利用する(ミニタワー型)」の「ケーブ ルストッパの取り外し/取り付け」をご覧ください。 **②**PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キー ボードを例に説明します)

添付のマウス(緑),キーボード(紫)を同色のコネクタにそれぞれ接続する



ケーブルストッパを利用すると、盗難・抜け防止に役立ちます。 ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド』 「PART4周辺機器を利用する(ミニタワー型)」の「ケーブルス トッパの取り外し/取り付け」をご覧ください。

2. ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の❶または❷のどちらかの方法で接続してください。

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあ り、接続方法が異なる場合がありますので、ディスプレイに添付のマ ニュアルを参照しながら接続してください。

●CRTディスプレイまたはアナログ液晶ディスプレイを接続する場合 ここではディスプレイ(DV17D2)がセットになった場合を例に説 明します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し、本体のアナ ログRGBコネクタと接続する

ビデオ信号ケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネ ジ止めする アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに本体とアナログ液晶 ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)どちらを使用しても構いません。



❷デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここではディスプレイ(F14T52)がセットになった場合を例に説明 します。

ディスプレイの背面につながっているビデオ信号ケーブルのコ ネクタを、アイコン(〇)とコネクタの形状を確認し本体のデジ タルRGBコネクタに接続する

このときビデオ信号ケーブルのコネクタを、本体のデジタルRGB コネクタに、確実にロックされるまで手で押し込んでください。 本体と液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

この場合、本体の2つのUSBコネクタ(前面、背面)のどちらを使用しても構いません。



 リンクケーブル(別売)またはモジュラーケーブルを接続する 必要に応じて次の接続を行ってください。 LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブ ル(別売)を使い、①の手順で接続します。 FAXモデムを利用して電話回線に接続するときは、モジュラーケーブ ルを使い、②の手順で接続します。

●リンクケーブル(別売)を接続する場合

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理 者の指示に従ってリンクケーブルの接続を行ってください。

リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン表示(品)に従って 接続する マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方のコ ネクタを接続する



❷モジュラーケーブルを接続する場合

- 端末機器の設計についての認証(技術基準適合認定)は電話回線で 受けています。
- FAXモデムボードに接続できる電話回線は2線式のみです。電話機の 種類によっては動作しない機種がありますので注意してください。
- FAXモデムボードの詳細については、セットアップ完了後に『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』「PART1 本体の構成各部」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

電話機につながっているケーブルのコネクタを本体のアイコン 表示(⁽)に従って接続し、モジュラーケーブルの一方のコネク タを、本体のアイコン表示(、、、)に従って接続する モジュラーコンセントに、モジュラーケーブルのもう一方のコネ クタを接続する

本機を電話回線に接続しても、2線式の電話機はこれまで通り使うことができます。



4. アース線、電源ケーブルを接続する

<u>/</u> 安全に関するご注意

アース端子付きのコンセントがない場合、ご購入元や、お近くの電気店な どにご相談ください。



アース線は、絶対にガス管につながないでください。ガス爆発、 火災の原因となります。



アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブルの プラグをコンセントから抜いてください。

アース線は、水道管につながないでください。アースできない場合があ ります。

アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑 音が入る場合があります。

アース線は、感電を防止するための電線です。本体のアース端子と、コン セントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する 役目を果たします。安全のために必ず接続してください。 次のページのイラストを見て●~❸の順番に接続してください。

● アース線を接続する

本体のアース端子にアース線をネジ止めする

コンセントのアース端子にアース線を接続する

⑦ ディスプレイの電源ケーブルを接続する

次のページのイラストはCRTディスプレイ(DV17D2)がセットに なった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があり ます。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してくだ さい。

ディスプレイにディスプレイ用電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

● 本体の電源ケーブルを接続する

本体に電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)



Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

セットアップをするときの注意

4

- ・ プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶 対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した 場合は、先に「 4 Windowsのセットアップ」から「 7 使用する環境の 設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアル を読んで接続や取り付けを行ってください。
- 途中で電源を切らない 作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源 スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原 因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セッ トアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありま せんので、慌てずに手順通り操作してください。

セットアップを始める前の準備

Windows 98インストールモデルをお買い上げの方は、Windowsセット アップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名 前を決めておいてください。

電源を入れる

必ず❶、�の順番に従って、正しく電源を入れてください。

● ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

43



2本体の電源を入れる

省スペース型の場合

デスクトップ型の場合



ミニタワー型の場合



セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、 「1.Windows Meのセットアップ」またはP.46「2.Windows 98のセット アップ」に進んでください。

1.Windows Meのセットアップ

電源を入れてしばらくすると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」 の画面が表示されます。

電源を入れてからは、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチ に絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切 ると、故障の原因になります。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、 P.48の「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

● 再起動を促す画面が表示された場合は、すぐに「いいえ」ボタンをク リック

この画面が表示されたまま、放置しないでください。

②「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

●「使用許諾契約書に同意」の画面を確認する

内容をよくご覧の上、次に進んでください。

をクリックして続きを見る

契約書を読んで「同意します」をクリック

(同意しない場合、セットアップは続行できません)

「次へ」ボタンをクリック

④ FAXモデムが搭載されたモデルを使用している場合、「登録先: Microsoft」の画面が表示されたら、「いいえ、今は登録しません」をク リックし、「次へ」ボタンをクリック ④「設定が完了しました」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック 途中で自動的に再起動し、Windows Meのデスクトップ画面が表示されます。

以上でWindows Meのセットアップ作業は終了です。 次にP.47「電源を切る」へ進んでください。

2.Windows 98のセットアップ

電源を入れて、しばらくすると「この度は当社のパーソナルコンピュータ をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。」の画面が表 示されます。

これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に 手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故 障の原因になります。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、 P.48の「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

- キーボードの[Enter]を押すと、ハードディスクのチェックが始まるので、チェックが終了したら[Enter]を押す
- ② ディスプレイの解像度を選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って画面の解像度を選択し、【Enter】を押す

800×600 ピクセル(ドット)の解像度を表示できるかどうかわからな い場合は、640×480 ピクセル(ドット)を選択してください。

- ④ 再起動を促す画面が表示された場合は、「いいえ」ボタンをクリック
- ②「Windows 98へようこそ」の画面が表示されたら、名前とふりがなを 入力する

ここで登録した名前やふりがなは、セットアップが完了した後には変更 できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド 再 セットアップ編 (Windows 98インストールモデル)をご覧ください。

「名前」を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

「ふりがな」を入力する場合は、ふりがな欄にマウスポインタをあわ せ、クリック

名前と同じように、ふりがなを入力することができます。

画面の右下にある、「次へ」ボタンをクリック

640×480 ピクセルの解像度で表示している場合、「次へ」ボタンは 画面の右下に隠れています。マウスでスクロールバーを操作してく ださい。

Windowsユーザー使用許諾契約」の画面を確認する

内容をよくご覧の上、次に進んでください。

をクリックして続きを見る

契約書を読んで「同意する」をクリック

(同意しない場合、セットアップは続行できません)

「次へ」ボタンをクリック

⑦「セットアップの完了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック 途中で自動的に再起動し、Windows 98の画面が表示されます。

これでWindows 98のセットアップの作業は終了です。 次に「電源を切る」へ進んでください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

1.Windows Meの終了

- ●「スタート」ボタンをクリック
- Windowsの終了」をクリック
- ③「次の中から選択してください。」の欄で「終了」を選択し、「○K」ボタン をクリック

自動的に電源が切れます。

④ディスプレイの電源を切る

2.Windows 98**の終了**

●「スタート」ボタンをクリック

Windowsの終了」をクリック

❸本体の電源を切る

「電源を切れる状態にする」をクリック

「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

④ディスプレイの電源を切る

以上でWindowsのセットアップは完了です。 P.50「5 お客様登録」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

 ・電源を入れて、表示される画面をチェックする スキャンディスクが実行され、異常が発見されなかった場合は、そのま まセットアップを続けてください。何か異常が発見された場合は、画面 の指示に従ってください。問題が解決したら、そのままセットアップを 続けてください。

「Invalid system disk...」などのエラーメッセージが表示された場合 や、スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたこと を伝えるメッセージが表示された場合は、Windowsは起動しません。 Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。再 セットアップについては、『活用ガイド 再セットアップ編』 (Windows Meインストールモデル)または『活用がイド 再セット アップ編』(Windows 98インストールモデル)をご覧ください。

セットアップの途中で電源スイッチを押してしまったら、「Windowsを 終了します。よろしいですか?」というメッセージが表示された (Windows 98インストールモデルのみ)

「キャンセル」ボタンをクリックする
 元の画面に戻りますので、そのままセットアップを続けてください。

 パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、 メッセージを書きとめた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して強制 的に終了する

電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。



登録には、3種類の方法があります(登録料、年会費は無料です)。

- ・インターネットによる登録 添付の『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。
- ・専用ハガキによる登録
 添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。
- FAX用紙による登録
 添付の『お客様登録申込書』をご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。 次のページの「 6 マニュアルの使用方法」へ進んでください。 6 マニュアルの使用方法

本機に添付またば、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に格 納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。 また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類を なくした場合は『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決Q&A」の 「その他」、「アフターケアについて」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

印のマニュアルは、「電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「電子マニュアル」の使用 方法については、P.54「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

[■]Microsoft_® Windows_® Me**クイックスタートガイド**<u>(</u>Windows Me**インストールモデルの場合添付**)

(Windows Me**のヘルプの中にある** Windows Millenium Editionを 使う」でもご覧いただけます。)

Windows Meの全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。

[■]Microsoft_® Windows_® 98ファーストステップガイド_▲ Windows 98 インストールモデルの場合添付)

(Windows 98のヘルプの中にあるオンライン形式の[®] Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』でもご覧いただけます。) Windows 98の全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいと きにお読みください。

『活用ガイド 再セットアップ編 (Windows Meインストールモデ ル)または、『活用ガイド 再セットアップ編 (Windows 98インス トールモデル)

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニ タワ - 型』(Windows Meインストールモデル】) Windows 98インス トールモデル)

本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定)、ATコマンドについて確認したいときにお読みください。

『活用ガイド ソフトウェア編』(Windows Meインストールモデル) (Windows 98インストールモデル)

アプリケーションの概要と削除/追加、他のOSをセットアップするときや、トラブルが起きたときにお読みください。

『ハードウェア拡張ガイド 省スペース型、デスクトップ型、ミニ タワ - 型』

本体の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機器の取り付けを 行うときにお読みください。

ディスプレイのユーザーズマニュアル

- 液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデ ルの場合は、ディスプレイに添付されています(P.2「11添付品の確 認」をご覧ください)。ご利用の際に、必ずお読みください。
- ・本体とディスプレイがセットになったモデルに添付のマニュアル には、Windows Meの場合の設定方法が記載されていない場合が あります。この場合は、Windows98と同様の設定方法で行ってみて ください。また、Windows Meで液晶ディスプレイのUSBハブが正 常に接続されていることの確認については、下記の手順に従ってく ださい。

「スタート」ボタン 「設定」「コントロールパネル」をクリック

「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をク リック

「システム」をダブルクリック

「デバイスマネージャ」タブをクリック

「ユニバーサルシリアルコントローラ」をダブルクリック

「NEC USB Hub」が表示されていることを確認します。NEC製 USB接続キーボード(バスパワードハブ付き)を利用されている 場合ば NEC USB Hub」が2つ表示されますが、問題ありません。

選択アプリケーションのユーザーズマニュアル

モデルによって、Office 2000 Personal、Office 2000 Professional、 太郎10・花子10バック & 1-2-3 2000などのマニュアルが添付されてい ます(P.2^r 1 添付品の確認」をご覧ください)。ご利用の際にお読みく ださい。

『NEC PCあんしんサポートガイド』

パソコンに関する相談窓口、受講施設、故障時のサービス網やNECのパ ソコン関連総合サイド 121 ware.com 」について知りたいときにお読み ください。

 Microsoft**関連製品の情報について** 次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開 発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用 するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

NetPCモデル(MA66H/Z)をお使いの場合は、あらかじめネットワーク上で任意のコンピュータのCD-ROMドライブをネットワークドライブに割り当ててください。

- CD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を セットする
- デスクトップ画面の「マイコンピュータ」をダブルクリックし、 CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック
- ③「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイル をダブルクリック

「Mate電子マニュアル」が表示されます。

×E

- Windows Meインストールモデルをお使いの場合、「ヘルプとサポート」「「スタート」ボタン「ヘルプ」をクリック」から電子マニュアルを 起動することもできます。
- PDF形式の電子マニュアルをご覧いただくためには、あらかじめ本機 にAcrobat Reader 4.0をインストールしておく必要があります。詳し くはMate電子マニュアル「アプリケーションの概要と削除/追加」 「Acrobat Reader 4.0」をご覧ください。
- ・必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレク トリにコピーしてご利用ください。
- 「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピー してご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでくださ い。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があ ります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名に コピーすると起動することができなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」では、NEC製の電子マニュアルをダウンロードできるサービスを行っております。また、NECPCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。
 http://121ware.com/e-manual/m/nx/index.html

以上でマニュアルの使用方法は完了です。 次のページの「27使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能 の詳細や設定方法については、『活用ガイド ハードウェア編 省スペー ス型、デスクトップ型、ミニタワー型』および『活用ガイド ソフトウェア 編』をご覧ください。

1. 補足説明を読む

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、 マニュアルには記載していない最新の情報について説明していますので 削除しないでください。以下の方法でお読みください。

- ・「Mate電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- ・「スタート」ボタン 「プログラム」「補足説明」をクリック
- 2. アナログ液晶ディスプレイの調整

文字がにじむときや縦縞状のノイズなどがあるときは、液晶ディスプレ イの調整が必要です。本機には液晶ディスプレイの画面を調整するアプ リケーション(液晶ディスプレイ調整ツール)が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。液晶ディスプレイの 調整ツールの追加は、『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリケーション の概要と削除/追加」をご覧ください。追加が終わったら、アナログ液晶 ディスプレイに添付のマニュアルを見ながら調整を行ってください。

3. Securityの設定

設定内容の詳細などについては、『活用ガイド ハードウェア編 省ス ペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』PART1 本体の構成各部」の 「Mateセキュリティ/マネジメント機能」をご覧ください。

BIOS LOCK

・指紋認証を利用する

別売の指紋認証(PK-FP002)を利用することで、本体起動時にBIOS レベルで指紋によるユーザー認証を行い、不正起動やBIOSの設定 変更を確実に防止します。MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、 MA66H/Sは、指紋認証を利用したBIOS LOCKができません。

55

・スマートカードを利用する

別売のスマートカードリーダ/ライダ(PK-SM001)とスマートカード(PK-SM003)を利用することで、個人認証をすることができます。 Windows 98の場合にご利用になれます。MA66H/L、MA10T/S、MA80T/S、MA66H/Sは、スマートカードを利用したBIOS LOCK ができません。

❷ パスワードの設定

スーパバイザパスワード/ユーザパスワードを設定することで、本機の使用者を制限するとともに、本機の不正使用を防止することができます。

€ ハードディスクパスワード機能

本機で使用するハードディスクドライブにパスワードを設定するこ とで、本機以外のパソコンでのハードディスクドライブの不正使用を 防止することができます。万一、ハードディスクドライブが盗難に あって、他のパソコンに設置された場合でも、パスワードが必要とな るため、重要なデータの漏洩を防ぐことができます。省スペース型、ミ ニタワー型の場合に利用できます。

- **② ファイル暗号化(PGP)**
 - 本機には、ファイルやフォルダの暗号化/復号化機能を提供するアプ リケーション(PGP)が、Windows 98インストールモデルのみ「アプ リケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。 詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と 削除/追加」をご覧ください。
- G1/0**D** v /

FDD、CD-ROMドライブなどを利用できないようにします。コン ビュータウイルスの侵入を防いだり、パソコンのデータを無断コピー されたり、パソコンに悪影響を与えるおそれのあるアプリケーション などのインストールを未然に防止することができます。

❻ 筐体ロック

内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難やスーパパイザ パスワード、ユーザパスワードの解除を防止するため、錠をかけるこ とができます。

56

Masty Data Backup

ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えなく なってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作 れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアップを とるようおすすめします。

本機にはハードディスクドライブをバックアップするアプリケー ション(Masty Data Backup)がアプリケーションCD-ROM/マニュ アルCD-ROM」に添付されています。(SmallOffice向けモデル (MA66H/L)には添付されていません。)

詳しくば"活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』PART1 本体の構成各部」の「ハードディスクド ライブ」、『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と 削除/追加」をご覧ください。

BIOSセットアップメニュー

「System backup reminder」を設定すると、本機起動時にバックアッ プを行うように警告を定期的(毎日、毎週、毎月)に出すことができます。 省スペース型、ミニタワー型で使用することができます。 詳しくは『活用ガイド ハードウェア編 省スペース型、デスクトッ プ型、ミニタワー型』PART2 システム設定」の「Securityの設定」を ご覧ください。

5. 利用する添付アプリケーションの設定

VirusScan、Easy CD Creator、DirectCDなど 本機には、ウイルスを検査・駆除するアプリケーション(VirusScan)が 「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されてい ます。

本機に添付されているVirusScanでは、新種のウイルスを検出できない場合 があります。新種のウイルスに対応するため、ウイルスデータファイル(DAT ファイル)を更新する必要があります。

またCD-R/RWドライブが搭載されているモデルでは、CD-Rおよび CD-RWヘデータを書き込むアプリケーション(Easy CD Creatorと DirectCD)が Easy CD Creator[™] 4 Standard/Direct CD[™] 3 CD-ROM」に添付されています。 この他にも便利なアプリケーションが添付されています。 詳しくば「活用ガイド ソフトウェア編」「アプリケーションの概要と 削除/追加」をご覧ください。 6. 運用・管理するための添付アプリケーションの設定

メンテナンスウィザード、Intel[®] LANDesk[®] Client Manager 6 (with NEC Extensions) pcAnywhere 9.2 EX、CyberAccess

本機には、スキャンディスクなどを定期的に実行させるための機能 (メンテナンスウィザード)パソコンの情報を管理する機能(Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)) 遠隔地か らパソコンを操作する機能(pcAnywhere 9.2 EX)システム管理者 向けと一般ユーザ向けの利用環境を設定する機能(CyberAccess)を 提供するアプリケーションが アプリケーションCD-ROM/マニュア ルCD-ROM (メンテナンスウィザードを除く)に添付されています。 SmallOffice向けモデル(MA66H/L)には、Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions) pcAnywhere 9.2 EXは添付さ れていません。

詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』『アプリケーションの概要と 削除/追加」をご覧ください。

- 7. 上手な使い方
- トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方、メンテナンスウィザードなどいくつかのポイントがあります。詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』トラブル解決 Q&A」の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

2本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど 定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド ハードウェア 編 省スペース型、デスクトップ型、ミニタワー型』『PART5 付録」の 「本機のお手入れ」をご覧ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのこと がありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落 丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows MeまたはWindows 98および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
- (10)本書に記載しているWebサイトは、2000年9月現在のものです。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Active Movie、Netmeeting、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、 Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における 商標または登録商標です。

「一太郎」「花子」「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「一太郎10・花子10パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎10・花子10パック」にかかる 著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

VirusScanおよびPGPは、米国法人Network Associates, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国 における登録商標です。

Lotusは、Lotus Development Corporationの登録商標です。

1-2-3は、Lotus Development Corporationの商標です。

pcAnywhereは、Symantec Corporationの米国における登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。 PS/2は、IBMが所有している商標です。

Intel、Pentium、CeleronおよびLANDeskは、Intel Corporationの米国および他の国々における登録商標および商標です。Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)は、Intel® LANDesk® Client Managerのテクノロジを使用しています。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。